

東レエンジニアリング西日本は、エンジニアリング、マニファクチャリング、メンテナンスの3事業を柱とし、安全で高品質な製品を提供できる真の長期安定成長企業を目指します

新任理事ご挨拶



この度、常務理事 機器事業部長を拝命しました藤内 雅治（ふじうち まさはる）です。
機器事業部は、ものづくり事業拡大のために、2021年7月エンジニアリング事業本部から独立しました。今後は、東レエンジニアリング株式会社のメカトロファインテック事業本部との連携を一層強化し、機器部では、平面研削盤、小型マシニングセンターなどの工作機械設備投資を積極的に行い、口金・ダイの増産と新分野への参入を実行します。電製部は、園山機器組立工場を、稼ぐ面積 Max.となるレイアウト変更と作業環境整備を行い、制御盤の更なる増産とコストダウンを実行します。そのためにも、明るく・楽しく・元気に仕事ができる職場を目指したいと思いますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

常務理事 機器事業部長 藤内雅治

“トピックス”

入社式および導入教育実施

4月1日、新卒で採用した4名の新入社員を迎え、2022年度入社式を執り行いました。式では社長の祝辞に続いて、新入社員代表が誓いの言葉を力強く述べ、社会人1年生として歩み始めました。

入社式に続いて4日間の導入教育を行い、当社社員として最初に身に付けるべき基礎知識の研修を行いました。導入教育後は、各配属先での実務に則した教育が行われます。

(担当部署：総務部 Tel:077-534-0956)



【施工実績 現地組タンク】

エンジニアリング事業本部 プラント事業部

プラント事業部では2021年3月に徳島県のお客様から原料供給設備増強工事を受注しました。受注から約10ヶ月かけて、既設撤去工事から新設タンク他機器類の据付、各種配管、断熱および配線工事を設計・施工し、2022年2月に試運転を行い、3月に無事にお客様に引き渡しました。

今まで輸送可能な小型製缶タンクや100~200m³規模の現地組タンクまでの経験しかありませんでしたが、本案件はタンクの容量1,000m³で、現地組み立て・現地内面ゴムライニング*仕様で、当社全体としても過去最大規模の施工となりました。

設計では東レ愛媛工場でのタンク設計実績を活かして施設事業部愛媛施設部が技術協力し、プラント事業部の施工計画・施工管理を融合させ、2事業部の設計・施工が一体となって本案件を実行しました。

安全面、品質面、納期面において問題なく計画通りに実施することができ、今後もエンジニアリング事業本部として技術交流を図りながら、お客様に喜んで頂けるプラント建設を実行していきます。

お客様が希望された工期短縮には大変苦労しましたが、お客様はじめ関係者の協力と、しっかりとした施工計画・安全管理・工程管理・品質管理を確実に実行することで工期短縮を実現することができ、お客様満足を獲得し、完全無災害で工事を完遂できたことは大きな自信につながりました。

最後に写真のご提供や円滑な工事進行にご協力頂きましたお客様に感謝申し上げます。

(担当部署：プラント事業部技術3部Tel:089-984-8826)

*ゴムライニングとは、ゴムをコンクリートや金属に接着し、その表面を覆うこと。耐蝕性、耐摩耗性、緩衝性を向上させ、母材を保護することができる。



タンク屋根取り付け中 奥のタンクに設置